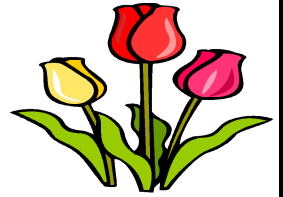




薬師寺小だより



平成28年4月 下野市立薬師寺小学校長 鈴木一恵

ごあいさつ

4月1日、赤、白、黄色のチューリップがかわいらしく咲き誇る薬師寺小学校に、校長として赴任させていただきました鈴木一恵です。どうぞよろしくお願ひいたします。南河内地区の勤務は初めてですが、幼い頃、春になると、薬師寺方面に家族や近所の人とお花見に来るのが楽しみで、待ち遠しかったことを思い出します。

3月末、薬師寺小への転任が決まると、本校に以前勤務したことのある先生方の誰もが「薬師寺は地域が温かいですよ」「薬師寺小の子はかわいいですよ」と私に教えてくれました。着任すると、薬師寺小に勤務する先生方からも同じお話を伺いました。4月8日始業式、子供たちに出会い、また、地域の方々とお会いし、私も心からこの言葉を実感し、この上ない喜びを感じました。

歴史のロマンあふれる薬師寺に佇む本校の伝統とよさを継承しながら、子供たちが大人になっても、ここに学んでよかったと思えるよう、職員と共に全力でがんばってまいりますのでご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

平成28年度がスタート

62名の新入生を迎え、児童数310名で平成28年度がスタートしました。昨年は全学年2学級でしたが、今年度は3年生が児童数40名ということで、1学級となってしまうと、窮屈で大変かなあと心配しながら3年生の教室にいてみると、子供たちから「お友だちがいっぱいいるから楽しいよ」の声、とても救われた思いがしました。とは言え、低学年から中学年への橋渡しをする大切な時期です。県派遣の非常勤講師（3年生付）が毎日6時間、副担任として指導にあたります。どうぞご安心ください。

さて、職員の方も以下のように入れ替わりました。よろしくお願ひします。

28年度本校スタッフ

(網掛けが新任者)

校長	鈴木 一恵	6年1組	北城 篤史
教頭	膝附 和彦	6年2組	赤坂 真希
教務主任	川島 啓	なかよし	塩田 晴治
1年1組	上條 愛里	なかよし	石田由起子
1年2組	矢岡千比呂	通級	白石 孝子
2年1組	稲葉 恵子	T・T	齊藤 真実
2年2組	中田 潤子	養護教諭	柴崎 友里
3年	芋川 晴恵	主事	高松 祐太
3年講師	近藤 令兒	公仕	野口美智代
4年1組	野口 貴史	支援員	小暮 珠美
4年2組	吉川 葵	支援員	野口 織恵
5年1組	宮本 元与	支援員	東浦 郁子
5年2組	安生 知世	ALT	レニ
後補充	若林 増美	JTE	石原 由貴

※安生先生が新採研修の日は、5の2の担任として若林先生が指導します。

「薬師寺小学校合い言葉」の すばらしいところは・・・

や	やめよう悪口	やさしい子
く	クレヨンみたいなカラフル	笑顔
し	しっかり考え	やりきる子
じ	児童みんなが	元気な子

校長室に入って真っ先に目に入ったのは、児童の文字で書かれた「薬師寺小の合い言葉」でした。新任式の時、子供たちに「もうすっかり覚えているのですか？」と尋ねると、誰もが自信たっぷりにうなずくので、思わず「やくしじの『や』は？」と質問してしまいました。すると、大きな声で「やめよう悪口 やさしい子」と全校生そろって返してくれたので、びっくり。もちろんやくしじの『じ』まで同じように返してくれました。

この合い言葉について素晴らしいな、さすが薬小っ子だなと思ったところがあります。

一つ目は、普通だったらやさしい子でもOKなのに、友達にとって一番つらい「悪口禁止」をストレートに出しているところ。誰だってやめようって気持ちになりますよね。

二つ目は、クレヨンの引用。1年生だってすてきな笑顔になってしまいますね。

三つ目は、「やりきる」のフレーズ。最後までがんばる薬小っ子の姿が想像できます。

最後は、「児童みんな」というところ。誰か一人でも元気がなかったら心配・・・という薬小っ子の優しさがあふれていますね。

こんなすてきな薬小っ子に出会えたことをとても嬉しく思います。

水（自分のがんばり）と肥料（学校）と 太陽の光（家庭）で

= 3つの花を咲かせましょぅ =

入学式の校長式辞では、新1年生に3つの花の種をあげました。残念ながら目には見えませんが、とても大切な種です。

それは、『やさしい心の花』『かしこい頭の花』『たくましい体の花』が咲く種です。種を乗せた手をそれぞれ胸・頭・腕に当ててもらいました。その後、私が、

「種を蒔いただけでは、きれいな花は咲きませんね。何か必要なものはありませんか？」

と尋ねると、「お水！」と答えてくれた子が何人もいました。さすが薬師寺小の1年生です。

「そうです。水が無いと花は咲きませんね。この種に水をやるのは、あなたたち自身です。『がんばる（努力）』ということが水をやることになります。毎日少しずつがんばりましょぅ。」と話を続けました。

そして、保護者の皆様には、「学校は、今、蒔いた種にたくさんの肥料をあげます。ご家庭では、温かな太陽の光を与えてください。水と肥料と日光があって、初めてきれいな花が咲きます。でも、どれもたくさんやればよいというものではありません。甘やかすことなく、必要な時にちょうどよい量をあげることが大切です。学校と家庭が協力して、世界に一つだけの花を咲かすことができるよう応援していきましょぅ。」

といった内容の話をしました。新入生に限らず、どの子もやる気いっぱいであるこの時期を大切にしたいものです。

始業式にも3つの種の話をしたので、薬師寺小の全児童の心に3つの種が蒔かれました。各教室では一人ひとりが3つの花を咲かせるために何ができるか、どんな自分になりたいか、よく考えながら今年の目標を立てました。どの子も自分らしい3つの花を咲かすことができますよう見守ってまいりましょぅ。

でも、3つの種のよい土壌のために、どうしても学校だけではできないことがあり、ご家庭でも一緒になって取り組んでいただきたいことがあります。

『薬小っ子スタンダード』として挙げさせていただきます。これは、難しいことではなく、**当たり前のことを当たり前でできるという、ごくシンプルなもの**です。

どうぞよろしく願いいたします。

薬小っ子スタンダード

当たり前のことを当たり前でできる子に

(ファミリエ下野市民運動)



やさしく

- ・あいさつ、返事、言葉遣い
- ・くつ揃え
- ・家族のためのお手伝い
- ・自分のことは自分でする



かしこく

- ・毎日の読書、家庭学習
- ・テレビやゲームの時間を決める
- ・家族との会話
- ・地域の行事への参加



たくましく

- ・早寝、早起き、朝ごはん
- ・外遊び、体力作り
- ・家族と一緒に正しい食習慣
- ・安全な登下校

家庭訪問は、とても貴重な時間

お忙しいところ、お世話になります

4月25日（月）から家庭訪問が始まります。家庭訪問で、直接、保護者の皆様と顔を合わせてお話しすることにより、ご家庭の教育方針や地域、通学路の様子、学校や担任へのご要望、放課後の児童間の交流などを理解することができます。

また、お子様の家庭での表情を見られるのも参考になる点です。学校よりずっとリラックスした表情であれば、教室でももっと伸び伸びと活動できるよう見守っていきましょうなどと、担任は考えます。

さらに、仮に、国語の時間に「愛犬ボチと近所の公園に散歩に行きました。」といった文を書いた子がいたとしたら、家庭訪問により、「あの犬、あの公園」と具体的な姿が浮かび、お子様との会話も弾みます。

そして何より貴重なことは、お子様一人ひとりがご家庭にとってかけがえのない存在であることを実感できることです。

このように、学校でのお子様の姿からだけでなく、お子様をより深く理解するために、担任にとりまして、家庭訪問はとても貴重な時間となります。

移動時間も含めて15分という限られた時間で申し訳ございませんが、スムーズに実施できますようよろしく願いいたします。

